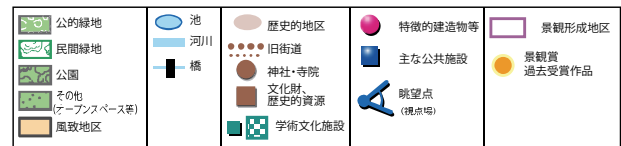
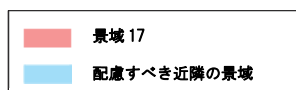


景域 17 佐井寺界隈



● すいた市民環境会議の活動・・・市全域

丘陵斜面の起伏が豊かで細い路地が入り組んだ旧集落の景観

地形

丘陵斜面の窪地にあたり、集落内の起伏が豊かです。

歴史

佐井寺地域は、鎌倉時代に山岳仏教の地でもあったと言われています。佐井寺伊射奈岐神社は、社伝によると5世紀にはこの地に祀られていたといわれ、佐井寺は創建650年ごろとも735年ともいわれています。かつて佐井寺観音への参拝客でにぎわいました。本堂や本殿などは風格ある景観を構成する重要な要素となっています。

集落には茅葺きや瓦屋根が残り、歴史を感じさせる趣ある景観となっています。

土地利用

昔ながらの家屋や比較的新しい家々が、細く曲がりくねる道に沿って建ち並んでいます。

都市活動・暮らし

手入れされた庭木が塀越しに見えるなど、空地は少ないながらも緑豊かな環境となっています。

佐井寺伊射奈岐神社は小高い丘に位置しており、境内からは市街地が眺められます。



集落の風景



昔ながらの佇まいを残す家屋

起伏のある地形になじみ、集落の特徴を尊重した歴史を感じさせる景観をまもり、はぐくむ

「潤いのある景観」をまもり、はぐくむ

- 緑を保全し、身近な緑の拡大、育成に努める。
- 斜面緑地の保全に努める。
- 樹林・樹木の適正な維持管理に努める。

「生きる景観」をまもり、はぐくむ

- 生垣や板塀、屋根などの連続性や統一性をつくり、まもり、はぐくむ。
- 地形になじみ、集落の景観に調和する建物づくりに努める。
- 落ち着いた中にも地域の特徴や表情、活気を感じられる空間の創出を図る。
- 敷地に花や緑を演出し、緑豊かな景観の形成を図る。
- 旧街道沿いの歴史を感じさせるまちなみをまもり、はぐくむとともに、歴史の径の整備などにより、他の歴史的資源との連携を図る。
- 屋根の形態や色彩の誘導、緑化などにより、歴史あるまちの風情の保全に努める。
- 案内板や説明板の設置などにより、文化財などに親しみやすくする。
- 伝統的な意匠や建築技法、生活様式などの記録や伝承に努める。
- 連続性や回遊性があり、にぎわいと楽しさを感じられる、沿道の景観づくりに努める。
- 祭りやイベントの舞台となりえる空間を創出し、人々のアクティビティを誘発する景観づくりに努める。
- 眺めを楽しみ、歩きたくなる景観づくりや憩いの場となる空間の演出に努める。

「調和と個性のある景観」をつくり、はぐくむ

- 壁面や高さ、色彩を周囲と調和させ、まとまりが感じられる景観の形成を図る。
- 沿道施設と住宅地との調和を図る。
- 街路樹により潤いを高め、道路の舗装や街路灯などにより連続性や統一感を演出する。
- 景観資源をまもり、はぐくむ。
- 田畑などの保全と景観の演出に努める。
- 夜は帰宅する人を出迎えるように、照明灯の色温度や配置・配光などで夜間景観の演出を図る。
- 地形の起伏を活かし、眺望景観の保全や形成を図る。
- 公共空間から眺められることも考慮した建築物等をつくり、良好な景観の形成に努める。

配慮すべき近隣の景域

景域 16, 18, 45